

火の取扱いに気をつけましょう！

花火は楽しく遊びましょう

日本の夏の風物詩「花火」。子どもたちにとって、楽しみな季節となってきました。しかし、気軽に楽しめる花火も、取扱いを誤ると火災やケガなどの事故につながりかねません。

【一例として】

子どもが手持ち花火を振りながら走り回って遊んでいるうちに、花火の火の粉が着衣に燃え移ったものがあります。（この子どもは腕などに火傷を負いました。）



安全に楽しく遊ぶには …

- ① 広くて安全な場所を選びましょう。
- ② 風の強いときは、やめましょう。
- ③ 子どもだけでなく大人と一緒に遊びましょう。
- ④ 説明書をよく読み、注意事項を守りましょう。
- ⑤ 水バケツを用意し、後始末までしっかりしましょう。

火遊びはぜったいにダメ！



子どもの火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ、火災が拡大することがあります。

火遊びによる火災を起こさないためにも、親や周りの大人が次の点に注意しながら、子どもたちに対して、火災の恐ろしさや正しい火の取扱いについて教えましょう。

- ① ライターやマッチを子どもの手の届くところにおかない。
- ② 火遊びをしているのを見かけたら注意する。
- ③ 子どもだけでは火を取り扱わせない。
- ④ 子どもだけを残して外出しない。
- ⑤ 火災の恐ろしさ・火の取扱いについてきちんと教える。

火災になれば、真っ先に危険にさらされるのは子どもたちです。子どもの火遊びで「まさか」ということにならないためにも、日頃から、火の取扱い・火災の恐ろしさについて話し合うようにしましょう。ちょっとした不注意から火災や事故を起こさないように十分注意し、楽しい夏にしましょう。

